

中小企業景況調査（2011年1月調査）・要約版

[概況]中小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

1 売上げ

1月の売上げD.I.（「増加」－「減少」）は0.9と上昇し、45ヵ月ぶりにプラス（「増加」超）となった（12月；▲2.0）。

売上げ見通しD.I.（「増加」－「減少」）は9.1と上昇し、2ヵ月連続でプラス（「増加」超）となった（12月；5.6）。

2 利益

利益額D.I.は▲0.4と、2ヵ月連続でマイナス幅が縮小した。

3 従業員状況、生産設備

従業員判断D.I.（「不足」－「過剰」）は3ヵ月連続でマイナス幅が縮小した。一方、生産設備判断D.I.（「不足」－「過剰」）は、2ヵ月ぶりにマイナス幅が拡大した。

調査の要領	調査時点	2011年1月中旬
	調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社（首都圏454社、中京圏140社、近畿圏306社）
	有効回答企業数	539社
	回答率	59.9%

<お問い合わせ先>

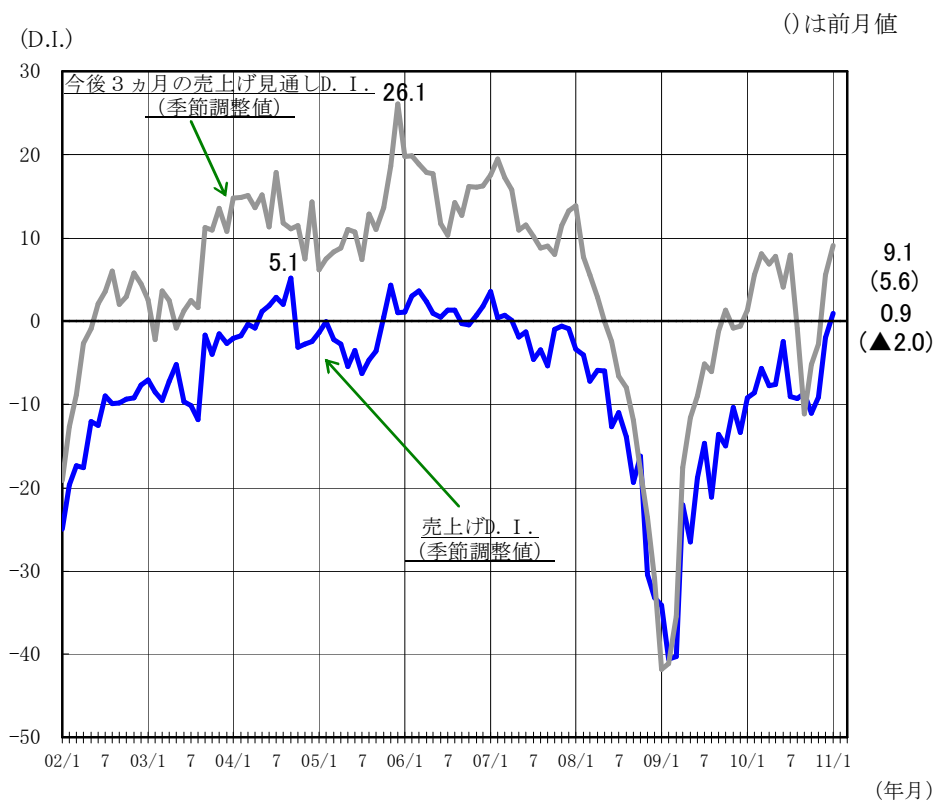
東京都千代田区大手町1-8-2

株式会社日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ

（担当：足立、芳野）TEL 03-3270-1704

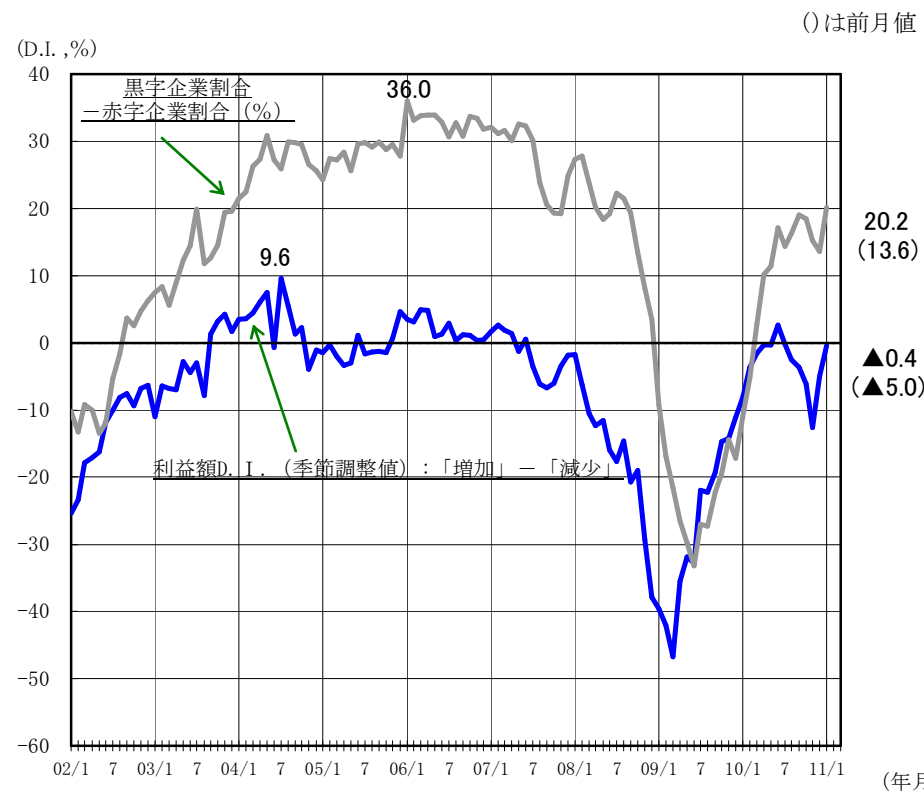
- 売上げD.I. : ▲2.0から0.9へ上昇し、45ヵ月ぶりにプラス(「増加」超)
- 売上げ見通しD.I. : 5.6から9.1へプラス幅が拡大し、2ヵ月連続のプラス(「増加」超)
- 利益額D.I. : ▲5.0から▲0.4とマイナス幅が縮小したものの、7ヵ月連続のマイナス(「減少」超)
- 黒字－赤字企業割合 : 13.6から20.2へプラス幅が拡大し、11ヵ月連続のプラス(「黒字」超)

【 図 1 】 売上げ及び売上げ見通しの動向
(「増加」－「減少」)



(注) 変動は前月比。ただし、今後3ヵ月の売上げ見通しについては過去3ヵ月の平均売上高比。

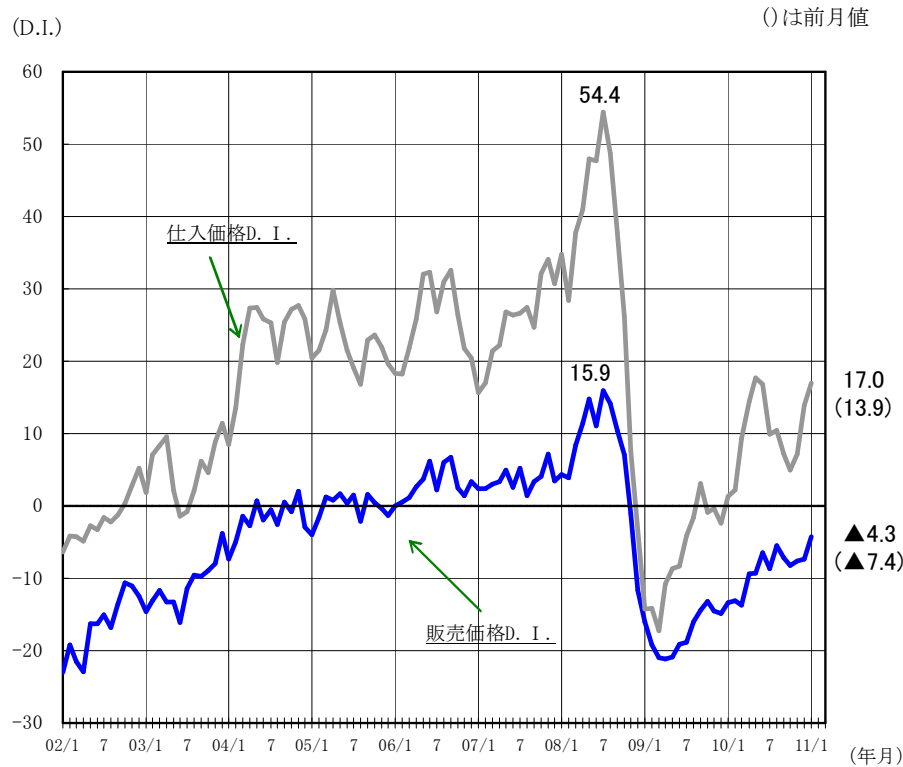
【 図 2 】 利益 の 動 向



(注) 変動は前月比。ただし、黒字および赤字の判断については過去3ヵ月の実績による。

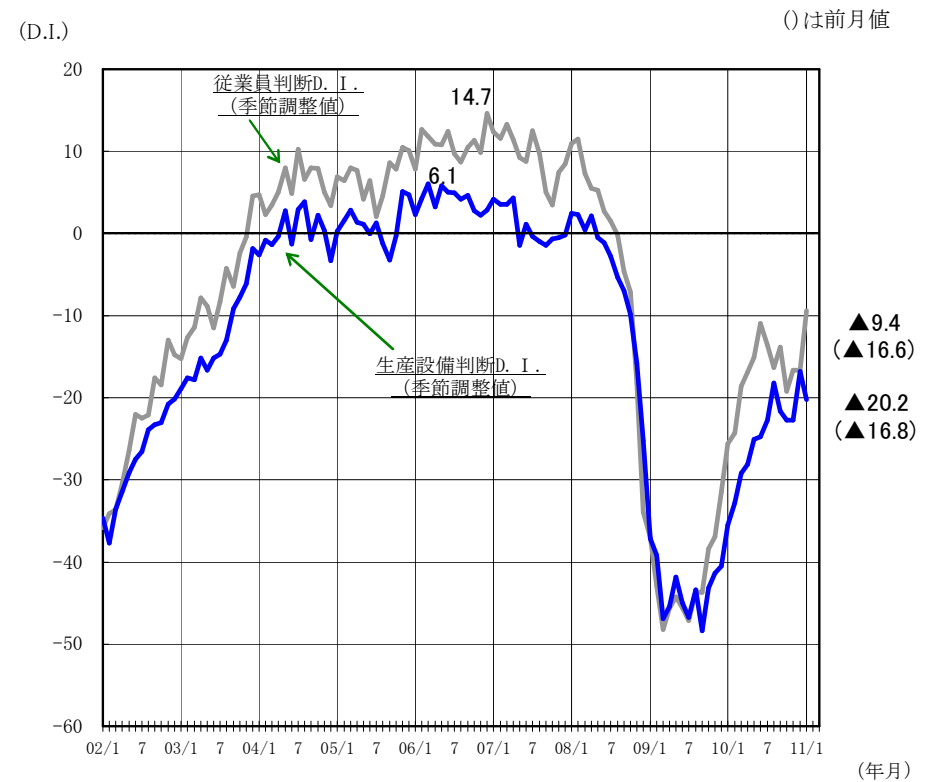
- 販売価格D.I. : ▲7.4から▲4.3へマイナス幅は縮小
- 仕入価格D.I. : 13.9から17.0へ3カ月連続の上昇
- 従業員判断D.I. : ▲16.6から▲9.4へマイナス幅は縮小
- 生産設備判断D.I. : ▲16.8から▲20.2へマイナス幅は拡大

【 図 3 】 販売価格、仕入価格の推移
(「上昇」 - 「低下」)



(注) 変動は前月比。

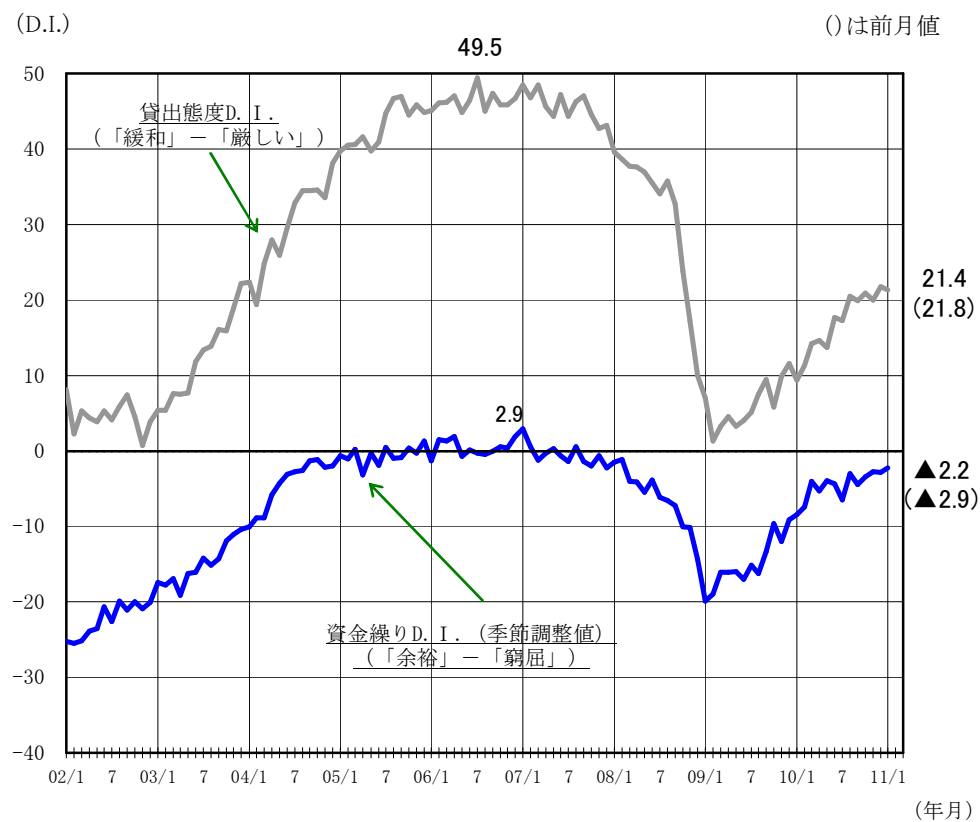
【 図 4 】 従業員状況、生産設備の判断
(「不足」 - 「過剰」)



○資金繰りD.I. : ▲2.9から▲2.2へマイナス幅は縮小

○貸出態度D.I. : 0.4ポイント低下

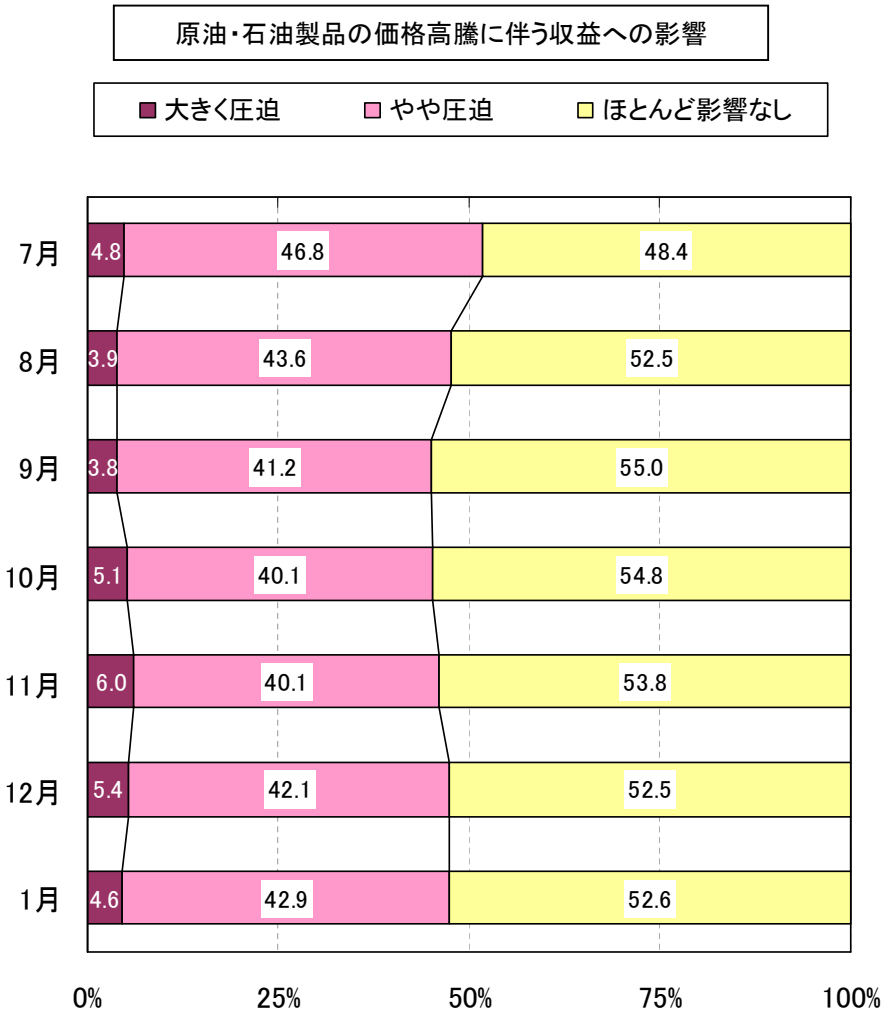
【 図 5 】 資金繰り状況 と 金融機関貸出態度



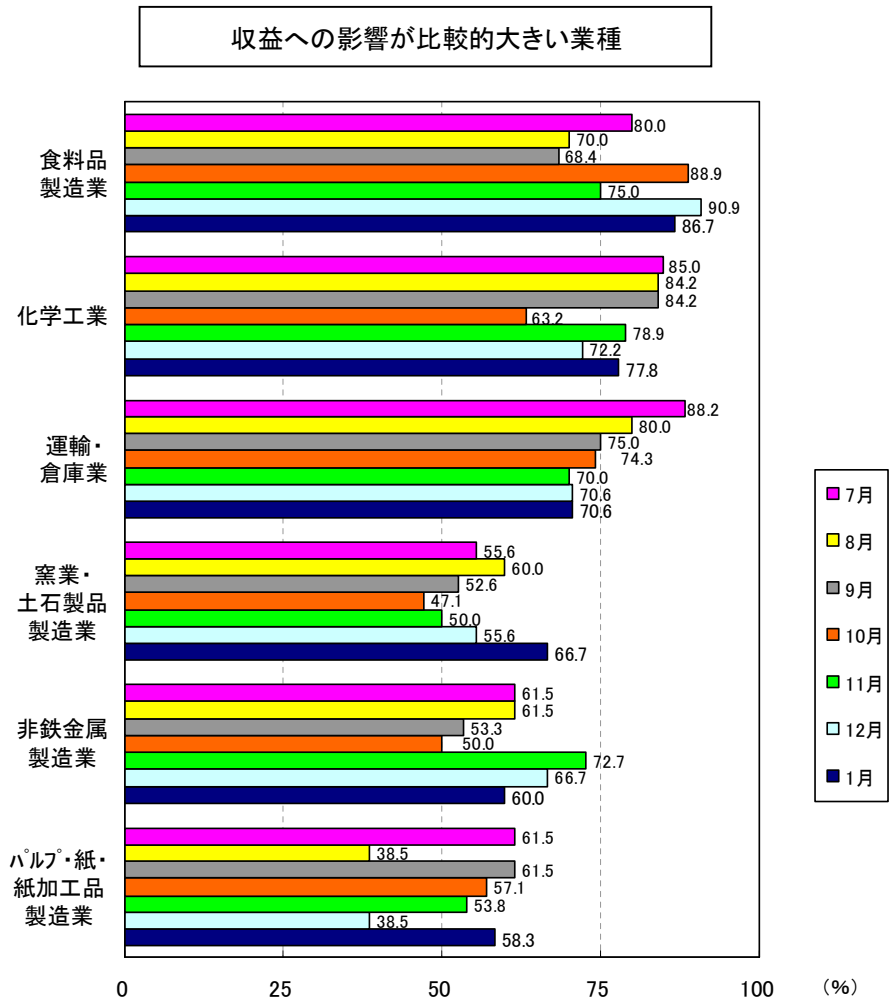
原油・石油製品の価格高騰による影響

特別調査

原油・石油製品の価格高騰により収益に影響を受けている企業の割合は、先月からほぼ横ばいとなった。



(資料) 当公庫「中小企業景況調査(特別調査)」



(注) 原油・石油製品の価格高騰が、「収益を大きく圧迫している」または「収益をやや圧迫している」と回答した企業の合計割合